

# 松戸ロータリークラブ会報

第2698回 例会

No.2697

2011年11月2日 発行



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために  
Reach Within to Embrace Humanity

2011-12年度 国際ロータリーテーマ

## ■ 本日のプログラム

2011年11月2日(水)

卓話「ロータリー財団について」  
申澈権 会員

## ■ 次回のプログラム

2011年11月9日(水)

松戸ロータリークラブ創立55周年記念例会  
天和RC来日  
ホテル・ザ・マンハッタン

『四つのテスト』 言行はこれに照らしてから

- ① 真実か どうか
- ② みんなに公平か
- ③ 好意と友情を深めるか
- ④ みんなのためになるか どうか

『THE 4-WAY TEST』 Of the things we think, say or do

- ① Is it the TRUTH?
- ② Is it FAIR to all concerned?
- ③ Will it build GOODWILL and BETTER FRIENDSHIPS?
- ④ Will it be BENEFICIAL to all concerned?

●例会日 毎週水曜 12:30~1:30  
●例会場 伊勢丹松戸店本館11Fバンケットルーム  
TEL: 047-364-1111  
●事務所 松戸市松戸1281 ユニティビル2F  
TEL: 047-366-2266  
FAX: 047-361-2255  
U R L : matsudo-rc.com  
E-mail : info@matsudo-rc.com

●会長 常盤 映彦  
●会長レク 加藤 栄  
●副会長 島村 俊充  
●幹事 中澤 雅彦  
●会計 猪股 貴久  
●会報委員 橋口 和幸 中田智次郎 松田 茂一  
小林 登 田原 晨暁 杉浦 章浩  
鈴木 昌広 車田 善教 浅井 利明  
飛田 勤

●第2790地区ガバナー 山田 修平 (木更津東RC)

THE ROTARY CLUB OF MATSUDO 松戸ロータリークラブ

国際ロータリー第2790地区 創立:昭和31年11月14日 RI承認:昭和31年12月17日

# 「インターアクトについて」

インターアクト委員会

浅井利明 委員長



インターアクトはロータリークラブが支援し、12歳から18歳が所属している奉仕組織で、世界で120以上の国と地域に12,000以上のクラブがあります。

日本では高校のクラブとして活動している場合が多いですが、聖徳大学附属中学校・

高等学校インターアクトクラブは、中学生も合わせて現在54名もの部員が在籍し、活発に活動しています。

インターアクトの活動は、館山市における8月の年次大会、9月のインターアクト国外研修と、メインの行事がほぼ終了したところです。

今月は、小学生の娘ともども文化祭にも参加させていただき、インターアクトクラブの展示を拝見致しました。自分が高校生だった頃の将棋ばかり指していた生活を省みると、クラブの生徒さん達の高い意識に驚かされます。

本日は、クラブの顧問教師である前迫先生及び3人の生徒の方々がお越しくださり、海外研修をはじめとする最近の報告をしていただきました。それでは、よろしくお願ひ致します。

## 2011-2012年度

## 聖徳大学附属女子中学校高等学校 インターアクトクラブ 活動報告

「例会」参加生徒：3名(高校生部員)

- ・ 宍倉 沙貴(ししくら・さき) 高3
- ・ 島 菜七(ふくしま・なな) 高2
- ・ 清水 杏奈(しみず・あんな) 高2

### 1. 参加の挨拶

クラブ顧問：前迫勝明

#### 【内容】

「例会」招待への御礼  
クラブ活動支援への御礼  
文化祭への来校への御礼  
本年度の部員紹介 など

今年度も、私たち聖徳大学附属女子中学校高等学校インターアクトクラブを松戸ロータリークラ

ブの「例会」にお招きいただき、インターアクトクラブの「活動報告の場」をもうけてくださりまして、まことに有り難うございます。

私たちは、このように、毎年1度、秋に「例会」にお招きいただき、松戸ロータリークラブの皆様方に、1年間の活動の報告をし、日頃の活動支援へのお礼を申し上げております。これからも、さらに私たちのボランティア活動を広げ、意識を高めていきたいと思っております。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

去る10月9日(日)には、私たちの学校において、文化祭「聖徳祭」が開催されました。インターアクト委員長の浅井利明先生の来校をお迎えし、部員一同、張り切ってインターアクトの展示会場の飾り付けをおこないました。浅井先生におかれましては、お忙しい折に、わざわざ本校へおいでいただき、まことに有り難うございました。

毎年、物心両面で私たちの活動を支えてくださっている、松戸ロータリークラブの皆様には、いつも部員共々感謝しております。おかげをもちまして、今年度は、聖徳大学附属女子高校は、国際ロータリー第2790地区の高等学校の中で、特に積極的に、有意義に地区行事への参加ができました。「第44回インターアクト指導者講習会」、「第45回インターアクト年次大会」、「第24回インターアクト国外研修」に多数の部員が参加し、部員たちは大きく活動を広げました。その甲斐あって、今年度、私たちのインターアクトクラブは、部員数が53名になっております。高校生が45名、中学3年生が8名です。昨年この「例会」に参加させていただいた時には、過去最大の部員数に成長していることを報告いたしました。しかし、今年になって、更に部員も増え、成長しております。皆様の温かいご支援の賜と感謝致しております。これ以降も、もっともっと頑張っ、活動を高めていきたいと思ひます。

今後とも、なにとぞよろしくお願ひ申し上げます。どうも有り難うございました。

### 2. 活動報告(生徒発表)

#### A「第45回インターアクト年次大会」 活動報告

報告生徒

：宍倉沙貴

「インターアクト年次大会に参加して」

：福島菜七

「インターアクト年次大会に参加して」

「年次大会に参加して」

インターアクトクラブ部長 宍倉沙貴

今年の年次大会では、「東日本大震災に対する21航空群の活動」の講演を聞いた後、午後には「房州うちわをつくろう」というテーマで、うちわを作る体験をしました。

講演の話では、千葉県にある習志野自衛隊や館山自衛隊では一日でも早くヘリを飛ばして、被災地に食糧を届けたり、人を探しに行ったりし、多

くの助けをして来た事がわかりました。また、阪神淡路大震災の時は、政府からの指示が出ないと出勤出来なかったが、今回の東日本大震災では、すぐに救助に向かえる事が出来たので、人命救助やがれきの撤去等に迅速にあたる事が出来たということでした。

その他にも、地図で場所を確認する際、目的になるよう学校名を屋上に書いておくと、探すのに重要な手がかりになる事もわかりました。

また、食糧品の中には赤飯などがあり、赤飯はお祝いの席で食べる物なので一般の被災者には配付せず、卒業式の時に配ったり、自衛隊の食事に使わせて頂いたりしたそうです。このように救援物資を配布する際にも、いろいろ気を配られていたようです。

午後からは、皆でうちわ作りをしました。出来上がったうちわは、文化祭で展示することにしました。

最後に、他校の生徒と交流ができ、震災の救助活動の話しを聞いたことで、今後のボランティア活動に活かしていけたら良いと思いました。

このような研修活動に参加する有意義な機会を与えてくださった、松戸ロータリークラブの皆様我心から感謝致します。有り難うございました。

#### 「年次大会に参加して」

福島菜七

私はこのたび館山総合高校で行われたインターアクト年次大会に参加させていただきました。館山総合高校は海の近くにあり、とてもきれいな房総の海を見ることができる館山駅から徒歩15分程度のところにありました。

午前中には「東日本大震災に対する第21航空群の活躍」ということで、航空自衛隊の山本敏弘さんの御講演がありました。東日本大震災での航空自衛隊のご活躍などを聞きました。実際に現地にて活動した、それも自衛隊の方のお話を聞く機会はなかなかないので、とても興味深く良い経験をしました。今回の自衛隊の活躍はニュースにもなっていますが、やはり生の声というのは迫力がありました。また、私は看護師になることを考えているので、自衛隊の中の看護師についてもお話を聞くことができよかったです。応援の手紙をいただいたということを知り、このような形でも自衛隊の方を応援できるのだとわかりました。そしてその心が被災地の方にも届くのではないかと思います。これからも継続的な支援が必要だと感じました。そのために今私たち一人も何ができるかを考えることが大切だと思います。

午後は房総うちわを作りました。こちら職人さんの方が丁寧にわかりやすく教えてくださりました。そのため自分でも満足できるものを作ることができました。また実際に竹を割いているのも見せていただいたり、他のうちわとの違いなども説明されたりして、とても良い思い出となりました。完成したうちわは大事に使いたいです。また機会があったら作りたいなと思います。

館山はとても素敵な町だなと思いました。是非

また行きたいです。

今年の夏、このような年次大会に参加する機会を与えてくださった、松戸ロータリークラブの皆様厚く御礼申し上げます。

#### B「第24回インターアクト国外（大韓民国）研修」(3泊4日)活動報告

・報告生徒

：福島菜七 参加感想文

：清水杏奈 参加感想文

#### 「韓国研修を終えて」

福島菜七

私は今回のインターアクト国外研修に参加し、韓国へ行きました。その中でも特に印象深かったのは、2泊3日のホームステイでした。以前にも韓国を訪れたことは何回もありましたが家族旅行だったため、このような経験はできませんでした。今回は実際の韓国の家庭の雰囲気を感じ、文化に触れられたとても良い機会でした。とても不安だった言葉の面でも、私のホストだった方の娘さんは日本の大学出身で日本人のように日本語がペラペラだったので特に困ることもなかったです。またお母さんやお父さんとはちょっと英語を使って会話をしたりもできました。

私は6月1日から7月下旬までの約2カ月間、オーストラリアにある姉妹校に留学しており、ホームステイだったため、そこでも様々な文化を学ぶことができました。そして今回も短い3日間でしたが、とても充実した時間を過ごすことができました。今後も交流を続けていけたらと思っています。

最近、韓国の文化が日本でも流行っています。韓国でも日本のドラマを好きな方が多いようで、案内をしていただいた韓国の大学生の方もドラマを見て勉強しているそうです。

しかし、まだまだ竹島問題など政治的な面では問題が山積みです。それでも私たち若い世代が親交を深めて、相手の国のことも理解しあうことが大切だと思います。そのためにはまず、自分の国のことをよく知るべきだと思います。私は部活動で茶道をやっています。去年までは華道もやっていました。そして私たちの学校には礼法や書道の授業もあるので、このような日本文化をしっかりと学んで外国の方にそれらを紹介できるような人になりたいと思います。

今回、私たちはとても良い経験ができました。これらの経験はロータリーの方々のお力添えがなかったらできなかつたと思います。本当にありがとうございました。

#### 「韓国研修で学んだこと」

清水杏奈

私は今年の9月、ロータリーの方々にお世話になり、学校の代表、日本の代表として、韓国に行き参りました。私たちの学校からは5人が参加、

他校合わせて約20名で国外研修が始まりました。目的は外国の文化を知り、交流を深めようということでした。3泊4日という短い間で、少しでも多くのことを学び、理解できるか、というのが私の課題となりました。

私にとっては、初めての韓国。毎日が驚きと感動でいっぱいでした。日々、日本と韓国は近いのに、海を挟んだだけでこんなにも違うのかと、痛感しました。韓国に行ったのに、日本の文化について改めて学ばされる事も多くありました。その中で、私が一番印象に残ったことは、日本は遠慮の文化で、韓国は共有の文化なのではないかということでした。韓国人で、日本の大学に行っている女子大学生の方が、日本と韓国の違いをたくさん話してくれました。韓国では一緒に食べようというイメージがあるようで、一人一人自分のものを食べていた時、最初は日本って冷たい国なんだなと思ったそうです。けれど、日本人からすると、それは普通のこと、むしろ鍋などを食べる時は『鍋をつつく仲』と言われたり『同じ釜の飯を食べた仲』などと、すごく仲の良いイメージがあります。このように小さなことでも、文化の違いや、考え方の違いを感じることも多々ありました。

私にとってこの韓国研修は、韓国という海をはさんだ向こう側の国を学ぶと同時に、日本の文化を学ぶことができた、すばらしい機会だったと思います。このような機会を与えて下さった、松戸ロータリークラブや地区委員会の方々に深く感謝いたします。

**C「第82回春季あしなが学生募金活動」  
活動報告  
報告生徒**

：福島菜七「あしなが学生募金に参加して」  
：清水杏奈「あしなが学生募金に参加して」

**「あしなが学生募金に参加して」**

福島菜七

私はこの春、あしなが学生募金に参加しました。例年とは違う意識で取り組むことができました。その理由は3月11日に起こった東日本大震災に私たちも遭遇したからです。今回の震災で親を亡くしたという私たちと同じぐらいの子たちの姿をニュースや新聞などで目にする機会が多かったです。そのため私たちもいつもより熱心に、真剣に取り組むことができました。私の友人もいつもより多くの子たちが手伝ってくれました。

私たちが募金活動をした日は大雨で、傘を持ちつつやりましたが、びしょびしょになってしまいました。それでもやりがいを感じる事ができました。そして去年よりも多くの方が募金してくださりました。まさに日本が一つになったのを目の当たりにしました。

今回のこの地震を忘れずにこれから生きていきたいです。そしてまだまだ多くの支援が必要ですが、とかく忘れがちです。これからも継続的な支

援をしていけたらいいなと思います。私はたまにお店などで募金箱があったら、お釣などを入れたりしています。このような小さなことでも為になるなら行っていけたらと思います。秋のあしなが学生募金もしっかり行きたいです。ありがとうございました。

**「あしなが学生募金に参加して」**

清水杏奈

私は今回初めてあしなが学生募金に参加しました。正直言うと、最初は声かけがとても恥ずかしくてやっていた。しかし、募金をして下さる人達が増えていくにつれて、段々そんな気持ちは消えていきました。そして、やっていると使命感を感じるようになり、楽しいという気持ちになりました。募金をして下さった人達の心が私たちを通して、届くと考えると、私はうれしくてたまらない気持ちになりました。

今回は、地震の後という事もあり、たくさんの親子の方々が募金をして下さいました。募金をすることにより助かるのは被災地の子ども達や困っている人々ですが、その募金を呼びかけている私たちも、心が満たされてゆく心地がしました。

このような経験を高校生の内にできたことは、私の一生の宝となると思います。これからも続けていきたいです。

ありがとうございました。

**D「平成23年度インターアクト活動」  
活動報告の総括**

報告生徒

：宍倉沙貴「今年度のインターアクト活動」

**「今年度のインターアクトクラブ」**

インターアクトクラブ部長 宍倉沙貴

今年度の活動として指導者講習会、年次大会あしなが学生募金そしていっぽクラブとはなまるクラブに参加してきました。

指導者講習会では、予定としては、私たち聖徳校の生徒が作った風船を皆に披露して一緒に作成するはずでしたが、東日本大震災が起きてしまった為、千葉周辺で募金活動をする事に急きょ変更となりました。

年次大会では、午前の部で館山自衛隊の方が来て下さり、「東日本大震災に対する21航空群の活動」について講演を聞き、午後の部に「房州うちわを作ろう」というテーマで、うちわを作る体験をしました。私はこの講演を聞いて、地図で確認する際、目的になるよう学校名を屋上に目立つように書いておくと、探すのに重要な手がかりになる事がわかりました。房州うちわを作る体験では、初めてつくるので上手に作れるか心配だったのですが、おばさんの教え方がわかりやすかったのと、見回りに来て下さったおじさんのアドバイスのおかげで上手に作り上げる事ができました。この房州うちわは、文化祭で展示しました。

あしなが学生募金では、毎年松戸駅周辺で2週

にわたり、土日に交替でやっています。最初の一声は緊張してあまり声を出すのが恥ずかしかったけれど、一時間、二時間やっていると声も出るようになりました。募金して下さいた人の多くは「頑張ってください」と励ましの言葉を言って下さる方もいて、とても嬉しく思いその言葉を聞くと私は、もっと頑張ろうという気持ちを持ってました。

今年の夏休みに行ったはなまるクラブでは、キッコーマンの醤油工場見学をしました。工場見学後、公園で子供たちと遊ぶ機会を設けました。そして、子供たちに危険がないよう又、楽しく遊んでもらえるように一緒に遊びました。

これらのボランティア活動を通じ、私も何らかの役に立てるようこれらからも頑張りたいと

思います。

最後に、今までお世話になった松戸ロータリークラブの皆さま、地区又インターアクト委員会でご指導下さった諸先生方々に感謝します。どうもありがとうございました。

### 3. 報告終了の挨拶

- ・本日の「例会」招待への御礼
  - ・平成23年度「第15回ボランティアスピリット賞」応募の報告
- 聖徳大学附属女子中学校と高等学校のインターアクトのボランティア活動に対して、それぞれに「感謝状」をいただくことになっています。

## 聖徳大学附属女子中学校高等学校 インターアクトクラブ 活動報告





## 会長挨拶



常盤映彦 会長

こんにちは。  
今日はインターアクトの会員と先生にお越しいただいております。後ほど活動報告をいただきますので、よろしく願います。

さて、先週諏訪湖のほうに出かけまして、ダックツアーという水陸両用のバスに乗るツアーに参加しました。割合高齢の御夫婦が主体の30名ほどの団体と一緒にりましたが、ロータリーのバッジを着けていて、なんと、名古屋西クラブの家族親睦旅行ということでした。会長の方は名古屋フィルハーモニーの理事長で、トヨタ自動車の顧問をお務めの神尾さんという方と少しお話しして、写真も撮っていただき送ってくれるそうです。

知り合う機会を得られるということもロータリーの効用だと思います。熱田神宮で会議がありますので、メーキャップに伺おうかと思いましたが、情報研究会で申会員が話しておられました。世界中で知り合う機会を持てるということですから、旅行のときでも、時間が合えば現地のクラブにメーキャップに行くのもいいかな、と思っております。

尚、ボストン、ワシントンでもダックツアーに参加しましたが、ボストンがお勧めで、諏訪湖のツアーは諏訪湖にヨットハーバーから入水するというのみで、案内もテープでしたのでそれほどお勧めのものでもありませんが、ある意味忘れられないものとなりました。

## 幹事報告



中澤雅彦 幹事

1. クラブ内、会議・連絡事項等の案内  
先週、親睦委員会よりFAXにてご案内しましたとおり、11月9日、午後6時半よりホテル・ザ・マンハッタンにて「松戸RC創立55周年記念例会」

が開催されます。会員ならびにご夫人、多数のご参加をお願い致します。

2. 外部からの会議・連絡事項等の案内  
11月5日、6日 にかずさアカデミアパークにて地区大会が開催されます。登録されている会員の皆様、多数のご参加をお願い致します。  
11月6日、9:00登録開始、9:30点鐘、15:20閉会。15:45～16:45大懇親会。  
ロータリー日本事務局より11月ロータリーレポート、1ドル=78円との連絡がありました。
3. 他クラブ会報・その他  
特にありません。

4. 例会変更の連絡
  - ・松戸西RC  
11月9日 の例会は11月6日の地区大会に振替
  - ・柏西RC  
11月4日 の例会は11月6日の地区大会に振替  
11月18日 の例会は移動例会に変更  
東北方面（宮城・山形）へ親睦旅行
5. その他  
特にありません。

## 例会報告



加藤会員



小川会員

[出席報告]		
会員52名	義務会員43名	免除会員 9名
出席45名	義務会員39名	免除会員 6名
飯欠 7名	義務会員 4名	免除会員 3名

[欠席者]		
島村 善行君	大川 吉美君	湯本 高之君
平松 徹君		

[M U]		
湯本 高之君	千葉幕張RC	10月18日
松本 幸夫君	情報研究会	10月12日
織田 信幸君	情報研究会	10月12日
三国 大吾君	情報研究会	10月12日
申 澈権君	情報研究会	10月12日
安井 克一君	松戸東RC	10月21日
山田 達郎君	松戸東RC	10月21日

本日出席率 91.84%  
先々週出席率修正 81.6% 85.71%

[お客様]	
大川原常雄様	市川RC

[ゲスト]	
聖徳高校インターアクトクラブ	
顧問 前迫先生	
生徒 宍倉 沙貴 福島 菜七 清水 杏奈	

## ニコニコBOX

ニコニコBOX	当日 ¥ 1,000	累計 ¥ 370,000
財 団BOX	当日 ¥ 4,256	累計 ¥ 56,715

森田雅久君 / 所用により早退します。

文責 / 橋口